



家族3人+1匹の愛猫で下野市暮らしを満喫する中村さんご一家。この春、息子さんは幼稚園に入園。「成長が楽しみです」。

Charm Point
05
中村紘平さん



中村紘平さん

青森県出身。自動車会社に勤務。宮城県仙台市から静岡県焼津市、下野市へJターン。

優しさとおたたかさ、人も魅力の下野市

妻とは仙台で出会い、そこから転職して静岡、そして栃木にやってきました。下野市での暮らしは3年目。マイホームを考えたときに妻が「下野市がいい」と熱望したので、この街の移住のきっかけになりました。

職場までは車で15分ほど。通勤が楽というのも、この街で暮らす決め手のひとつではありますが、一番の理由は、人がよかったです。ゆかりのないところでの暮らしは、一日の大半を幼い子どもと過ごす奥さんに、心細さを感じさせてしまつかもしれません。

せん。でも、うちは心配無用。前住下野市内に住んでいた戸建ての住まいでは、子どもが泣いていると、近くのおばあちゃんが声をかけてくれたり、公園で遊んでいれば、同世代の方が気さくに話しかけてくれて友達になってくれたりと、みなさん親切にしてくれるようので、妻は全然寂しくないそうです。(笑)。

専門の病院も多いうえに、どの病院もいい先生や看護師さんばかり！移住者を優しく受け入れてくれる、みなさんのあたたかい人柄も、この街の大きな魅力だと思います。



こだわりが詰まった念願のマイホーム。中村さんが休みの日は広い庭で、外遊びなど家族団らんを楽しむ。家のそばには公園や児童館があり、お子さんが0歳の頃から毎日のように利用していたそう。



公園の遊具で無邪気に遊ぶお子さんの姿を、微笑ましく見つめるご夫妻。神奈川の実家に帰省しても「早く家に帰りたい」と思ってしまうほど、この街に愛着を持っているという倉井さん。



身近に四季を感じる暮らしは今も新鮮そのものなんです

季節の移り変わりや旬の味覚を楽しめる街



倉井真理子さん

神奈川県出身。現在はご主人の造園会社の事務を担当。2人のお子さんと4人暮らし。

Charm Point
04
倉井真理子さん

結婚を機に下野市で暮らしはじめて、今年で8年目。それまで栃木には、修学旅行で日光に行ったぐらいだったので、初めてこの街に来た時は、どこまでも続く平地を目にして、「これが関東平野なんだ！」と、大きく感動しました(笑)。

主人は稼業を継ぐために都内からUターン。地元出身の主人には、昔と変わらない風景かもしれませんが、団地育ちの私には、四季を感じられるこの街での暮らしは、今も新鮮そのものです。田植えからは始まり福刈りまで、1年を通して移り変わる田園風景は、どこか懐かしく心が和みますし、主人の実家の裏庭では、春はタケノコ、秋は栗が採れ、季節の味わいを毎年楽しむことができます。また、採りたての季節野菜を安く購入できる直売所も多く、2人の子どものためにも野菜が大好き。野菜って、こんなにおいしかったんだって思えたのも、この街のおかげです。

主人の誘いもあり、最近ゴルフを始めたばかりの私ですが、いつか夫婦で地元のコンペも参加してみたい。今はそんな夢もっています。

「大松山運動公園」は家族の憩いの場所。敷地内の図書館に行ったり、広場などで自然遊びをしたりと休日をのんびりと過ごす。

